



かがやき

西橋北小学校
学校だより

No.39

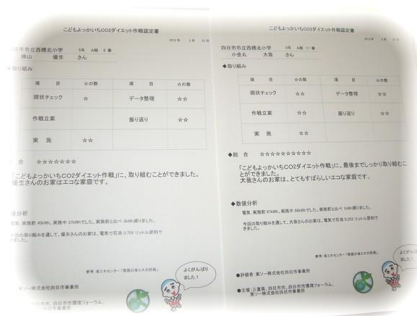
平成 24 年 3 月 2 日

CO₂ダイエット パートⅢ

(文責:後藤

達人)

2月23日(木)に、5年生で、最後のCO₂ダイエットの授業がありました。この日は、「こにゅうどうくん」もやってきて、一人ひとりの子どもたちに、「こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦認定書」を手渡ししてくれました。



5年生は、この日までに、前回考えた作戦を実行し、メーターでその成果を調べてきていました。自分の考えたエコ作戦が、うまく成功したという実感が持てたようです。



No.34 でもお話しましたように、CO₂(二酸化炭素)の排出は、地球温暖化に直結する一大環境問題です。まず自分の家からできること

を始め、次第にその視野が広がっていくことができれば、このCO₂ダイエット作戦が成功したといえるのでしょう。私たちも、5年生の取組に負けず、地球の環境について、もっと深く、自分の問題としてとらえ、実践していきたいものです。



1年生と保育園・幼稚園児との交流会

2月24日(金)、西橋北小学校に橋北保育園と橋北幼稚園の年長児がやってきました。今日の目的は、1年生との交流会です。今までにも、給食や5年生との交流、合同避難訓練等、いろいろな場面でお互いに交流を深めてきました。

まず、1年生が学習の中で自信を持って取り組むことができるようになった「おみせやさん」に、かわいいお客さんを招待しました。右の写真は、1年生が作った商品の一例です。とてもいねいに仕上げられていて、いくつかは、校長室にも展示しています。



活動後は、3階ホールに入り、みんなで交流を深めていきました。年長児のみなさんは、西橋北小学校にも何回か来たことがあり、ずいぶん慣れた感じで過ごす子もいました。交流会の目的が果たせていると実感しました。1年生のみなさん、ありがとうございました。



2年生 東西交流

続いて2月27日(月)には、2年生の東西交流会を行いました。今回は、東橋北小学校の2年生の子どもたちが、西橋北小学校にやってきての交流会となっています。

今までにも、このような交流会を経験しているので、迎える側も訪

問する側も、すっかり慣れっこになってい

ます。それほど緊張することもなく、みんなで楽しく、にぎやかに活動を進めることができました。

東橋北小学校の友だちが帰るときには、みんなでアーチを作り、一人ひとりに声をかけながら、別れを惜しんでいました。

今年度の交流会は、ひとまずこれにて終了いたしますが、今年度の取組を振り返り、検討を加え、来年度は、さらに充実した内容で、より効果的な

取組を推進していきたいと考えています。地域のみなさまにも、いろいろな場面でご協力をお願いすることもありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「こどもをまもる家」へのお礼訪問について

3月14日(水)14:15～各地区の子どもたちが、学校から集団下校をしながら、通学路沿いの「こどもをまもる家」を訪問し、お礼のあいさつに伺います。もしご都合が付いて、対応していただければ幸いです。こちらの勝手なお願いですので、くれぐれも無理をなさらないでください。

どうぞよろしくお願いいたします。

西橋北小学校の自然

～スイバ～

今年の冬は、ずいぶん寒かったように思います。雪もたくさん降りました。でも、そんな寒い中、スイバの葉っぱが、赤く色づきながら寄り添うように生きていました。

実は、学校のスイバを季節ごとに写真に収めてきました。なぜかというと、5月に体育館南の畑を見たとき、それはそれは見事なスイバが育っていたからです。まるでハウレンソウ畑のようでしたので、思わずシャッターを押しました。



初夏のスイバ

も旺盛な生育を見せています。葉や軸に水分がたくさんあり、夏ののどの渇きを潤してくれます。ちょっぴりすっぱいので、「スイバ」の名が付いたようです。このスイバに似ている「ギシギシ」という植物がありますが、こちらは食べるとお腹がうなりますので、



冬のスイバ

夏の除草作業で、いったん見えなくなっていたスイバですが、9月のヒガンバナの咲くころには、すでに葉っぱがたくさん出ていました。きっと土の下には、とてつもなくでかい根っこがあることでしょう。「見えないけれど、あるんだよ。」という、金子みすずの詩そのものです。本当にすごい生命力に圧倒されてしまいます。

スイバは、スカンポとも呼ばれています。土手や道端など、どんな所で



秋のスイバ

ご注意の程を。違いは、葉っぱの付け根の切れ込みです。